

大きな犠牲が払われた女性・子供による “銃後の守り”

語り部： 望月翠山さん（東京空襲）

矢島裕治さん（学童疎開）

川崎せつ子さん（満蒙開拓、戦後の生活）

コーディネーター：小岩昌子さん（学徒動員—風船爆弾）

日時 8月1日（土）午後2時～

会場 ココネリ第一研修室（東側）

資料代 300円

戦争か平和か・・・憲法9条を破壊する戦争法案ノーの世論をさらに大きく盛り上げ、安倍政権ノーの声を強く叫ばなければなりません。戦後70年、戦争を経験していない私たちの多くは、果たして「戦争」がどんなものをどの程度知っているのでしょうか・・・。日本の戦争はアジア各国への日本軍の侵略行為だけでなく、実は日本全体に対する空襲（その最たるものは広島、長崎への原爆投下）、軍事物品生産のための学徒動員、空襲を避けるための学童疎開等々・・・女性、子どもの民間人も巻き込んだ大きな犠牲が払われました。第3回を迎える「戦争」語り部セミナーでは、50回を超える「風船爆弾語り部活動をおこなってきた小岩昌子さんに進行役を担当していただき、元教員の3人の方からそれぞれの「戦争」体験を語っていただきます。

小岩さんは8月7日に文化センター大ホールで行われる区主催の「平和祈念コンサート」でも“主役”の20分の語り部として出演されます。戦争体験をお持ちの70歳代以降の方、戦争経験のない60歳代以下の方、そして現在子育て真っ最中の皆さま、こぞってご参加ください！

※小岩さんは8月15日のTBS「報道特集」（後7時～9時）の「私の町にも戦争があった」にも主役級で登場します。